

ひろば

福岡教育大学学術情報センター図書館報 第147号

Side A : 後援会寄贈図書・真弓文庫の紹介
「図書館活性化プロジェクト」紹介
Side B : 教職員寄贈図書紹介

リフレッシュしたい時・レポート作成で困った時等に利用できるコーナーのご紹介！

後援会寄贈図書・真弓文庫の紹介

今年も後援会寄贈図書(356冊+DVD67本)、真弓文庫(43冊)が後援会寄贈図書コーナー(図書館二階のAVルーム横)と視聴覚資料コーナー(図書館カウンター前)に新しく加わりました。リニューアルした図書館HPにリストも掲載していますので、リフレッシュしたい時にご利用ください。視聴覚資料は館内(2階AVルーム)での視聴です。英語をはじめ語学関連のDVDのほか、古典落語、NHKのDVD教材などもあります。

昨年12月に実施したセンター長との懇談会に参加した院生・学生による選書図書74冊もかなり人気です。

図書リクエストの際は、web申込(図書館HP、OPAC)あるいはカウンターにある購入リクエスト票からどうぞ。

学生推薦図書

永江朗	「広辞苑の中の掘り出し日本語」	ハジリコ
村中李衣	「子どもと絵本を読みあう」	ぶどう社
長谷川博之	埼玉教育技術研究所「子ども・保護者・教師の心をつなぐ“交換日記&学級通信”魔法の書き方と書かせ方」	明治図書
ひすいこたろう, はるねむ	「漢字幸せ読本：漢字は答えを知っている」	ベストセラーズ
和田秀樹	「テレビに破壊される脳」	徳間書店
坂木司	「和菓子のアン」	光文社 など



文学賞受賞作品図書

芥川賞	黒田夏子	「abさんご」	文藝春秋
直木賞	朝井リョウ	「何者」	新潮社
	安部晴龍太郎	「等伯」	日本経済新聞出版社
本屋大賞	百田尚樹	「海賊とよばれた男」	講談社 など

ベストセラー図書

渡辺和子	「置かれた場所で咲きなさい」	幻冬舎
三浦しをん	「舟を編む」	光文社

中村格子	「実はスゴイ！大人のラジオ体操」	講談社
有川浩	「空飛ぶ広報室」	幻冬舎
湊かなえ	「白ゆき姫殺人事件」	集英社
三上延	「ヒブリア古書堂の事件手帖3 菓子さんと消えない絆」	アスキー・メディアワークス など

視聴覚資料 (DVD)

ハーバード白熱教室 1-7	
シャーロック・ホームズ：シャドーゲーム	
長くつをはいたネコ	
ジョニー・イングリッシュ：気休めの報酬	
アベンジャーズ	
コクリコ坂から	
テルマエ・ロマエ	
リトルチャロ 東北編 1-2	など

福岡教育大学後援会および社会科教育講座・玉置先生(真弓文庫)からの寄附により、本学学生のために一般教養図書・視聴覚資料を購入できますことを、図書館職員一同、心より感謝いたします。

「図書館活性化プロジェクト」の紹介

平成24年度より、学術情報センターの研究プロジェクトのひとつとして、「図書館活性化プロジェクト」が始まりました。その活動として、現在、1階ホールに、以下の図書を配架しております。どうぞご利用ください。

- ①「困らないためのレポート作成図書」コーナー(レポートの書き方やプレゼンテーションの仕方を解説したもの)
- ②「学問の最前線」入門図書コーナー(岩波ジュニア新書、ちくまプリマー新書、「爆笑問題のニッポンの教養」シリーズ)
- ③「教師力」育成関連推薦図書コーナー(小学生を対象とした図鑑・絵本など)
- ④「今月の本」コーナー(毎月、テーマを設けて本を紹介)

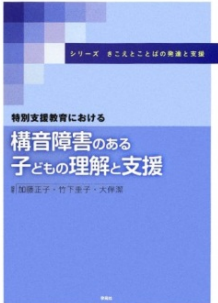


教職員寄贈図書を紹介

昨年度、図書館にご寄贈いただきました先生方の著書をご紹介します

図書館開架室に配架していますので、どうぞご利用ください！

加藤正子, 竹下圭子, 大伴潔編著 『特別支援教育における構音障害のある子どもの理解と支援』



学苑社

2012年5月発行

構音障害（発音の誤り、不明瞭さ）は、子どもに多くみられる言語障害であり、通常の学級を担当する教師にも基礎的知識が求められます。本書では、構音障害のある子どもの理解と支援について、「構音（発音）のしくみ」「音声・構音の発達」からさまざまなタイプの構音障害児の評価と指導について事例を交えながら紹介されており、基礎から実践まで系統的に学ぶことができます。私は「吃音を伴う構音障害児の評価と指導」の章を執筆しています。構音障害のある子どもの支援では、x軸（構音障害の症状）、y軸（家庭や学校等における聞き手の反応、かかわり方）、z軸（本人の反応、障害のとらえ方など）という3つの側面に留意する必要があります。y軸に相当する学級担任の理解と支援は二次的な問題への進展を防ぐという面でも重要です。本書を通して、構音障害と支援に関する理解が深まれば幸いです。（文：特別支援教育講座 見上昌睦先生）

＜第4開架室 福教大コーナー 378.2||KA86||福教大＞

小山剛・玉井真理子編 『子どもの医療と法〔第2版〕』



尚学社

2012年3月発行

本書は、10名の執筆者が集い、憲法・民法・刑法にわたる学際的・法際的研究の軸と、アメリカ・ドイツ・フランス・オランダ・スウェーデンにわたる比較法的研究の軸とを交錯させつつ、医療ネグレクト事案などにおける子どもの権利擁護について論じたものである。2008年刊行の初版は、『年報医事法学』の書評欄にも取り上げられるなど、学界で評価を得ることができ、このことが第2版の刊行につながった。私は、刑法研究者としてドイツ法の章を担当したほか、若手の民法研究者との連携により、日本法の章の共同執筆に加えて編者のサポートも行い、共同研究や本づくりの醍醐味を味わった。そして、この民法研究者との交流は、その後私が『医療倫理と法』研究会を主宰する契機となり、目下のところ科研費を活用し医療ネグレクトに関する新たな共同出版計画を進めるまでに発展している。本書において、私は、一執筆者に過ぎないが、私の研究生生活のなかで凶らずも本書が思い入れのあるものとなった。（文：福祉社会教育講座 保条成宏先生）

＜第4開架室 福教大コーナー 498.12||K097||福教大＞

高橋圭一・山本卓編 『近世実録翻刻集』



近世実録翻刻集刊行会

2013年2月発行

「名裁判官大岡越前守（忠相）」「悪を懲らしめる水戸黄門（徳川光圀）」「艱難辛苦の末、主君の仇討ちをした赤穂浪士」…。これらは、テレビや映画の時代劇、落語・講談、演劇などでおなじみですが、その源流をたどると、江戸時代の「実録」という読み物の一群に行き着きます。そのような実録のうち、本書は「大坂冬の陣・夏の陣」を扱った『厭蝕（えんしょく）太平楽記（たいへいらっき）』、敵討ちものの『白川（しらかわ）根笹（ねざさ）の雪』、『田宮物語』、「大岡政談」の中でもとくに有名な「天一坊一件」を描いた『享保太平記』、「赤穂浪士（忠臣蔵）」を題材とした『播磨（はりま）榎原（すぎはら）』の五編を翻刻（くずし字で書かれたものを現代の文字に直して公にすること）したものです。実録とは言いながら、内容はいわゆる歴史的事実とは異なり、虚構が多く、読んで楽しい物語なのですが、当時の人たちはそこに真実を求めましたし、そこに描かれた事件像や人物像は、今なお生き続けているものもあります。本書を手にとってみて、学校で教わることのない、けれど、知っている楽しい江戸時代の「実録」の世界に触れてみませんか？（文：国際共生教育講座 菊池庸介先生）

＜第4開架室 福教大コーナー 913.56||KI46||福教大＞

★ほかにも寄贈いただきました。その一部をご紹介します。

1. 本多壮太郎著 『Kendo: approaches for all levels』2012.7

＜第4開架室 福教大コーナー 789.3||H84||福教大＞ほか

2. 増田雄一編著 『ランニング障害のリハビリテーションとリコンディショニング：リスクマネジメントに基づいたアプローチ』2012.9（片平先生寄贈）

＜第3開架室 782||MA66＞

3. 永江誠司著 『社会脳SQの作り方：IQでもEQでもない成功する人の秘密』

＜第4開架室 福教大コーナー 361.4||N13||福教大＞

皆さま有難うございました